



江原浩之 議員 (白和)

公共下水道の維持管理は

答弁…計画的かつ効率的に管理を行っていく

▲録画配信
(2月27日一般質問)

問 全国の下水道施設の多くは、高度経済成長期以降に整備が進められ、4年度末時点で約49万キロメートルである。市の公共下水道管渠の整備状況は。また、下水道管渠の維持管理は。国から自治体に対して、下水道管の緊急点検の要請があったが、その詳細は。

答 市内の下水道管の整備延長は、4年度末で約144キロメートルであり、ストックマネジメント計画に基づき、優先順位をつけて調査を行っている。主要な管路の自主点検を行ったところ、異常は見られなかったが、今後も計画的かつ効率的に管理を行っていく。



農地 農地法改正による影響と今後の支援策は

答弁…新規参入者の支援に努めていく

問 農業経営基盤強化促進法等の一部を改正する法律が5年4月1日から施行された。農地法第3条の面積要件が廃止されたことによる該当件数と新規参入者の件数は。面積要件が廃止されたことをどのように捉えているか。新規参入者に市独自で支援策を考えては。

答 面積要件の廃止に伴う実績は、7年1月末までに6件で、新規参入者は3件である。市では、新規参入者の掘り起こしになると考えている。今後も農地の紹介や農作業機械修繕費支援事業等により、新規参入者が市の農業振興の一翼を担えるよう支援していく。



嶋田友一郎 議員 (白和)

自転車活用推進へ
計画策定と環境整備を

答弁…自転車活用推進について研究していく

▲録画配信
(2月27日一般質問)

問 自転車活用推進の施策は「環境負荷軽減」「健康増進」「観光振興」「安心安全」等、多岐にわたる効果がある。本市も自転車活用推進計画を策定してはどうか。また、市の交流拠点間を結ぶサイクリングロードやコース等の交通ネットワークの整備をしてはどうか。

答 現在、自転車活用推進計画の策定予定はないが、自転車活用の推進によりさまざまな効果が期待できることから、機会を捉えて、それぞれの分野において自転車の利用促進を図る。他市の取組などを参考に研究していきたい。

振興 柴山沼を親水公園に
観光交流拠点の創出

答弁…柴山沼を活用し地域の活性化を推進する

問 柴山沼では、カヌーやボート等のウォータースポーツアクティビティを活用したイベントが行われている。それらを推進し、通年での利用環境を整えることで活性化を図ってはどうか。

また、広く親水公園化することで、観光振興と交流人口の増加につなげてはどうか。

答 地域の活性化や魅力向上の一つとして、カヌー団体などと協議を重ねながら、ウォータースポーツアクティビティの活動を広げること検討していく。また、観光資源としての柴山沼を生かし、市内外の人々の交流の拠点となるような土地利用を推進していく。